株式会社アイ・オー・データ機器

WN-A54/BBRファームウェア1.1.0での変更点、追加機能

ファームウェアバージョンを1.1.0ヘバージョンアップすることにより、以下の機能が使用 可能となります。

変更点一覧

- 1.NETWORK1 · NETWORK2 間のスループットの向上(次ページ)
- 2. PPPoEのパスワードの入力最大値を31文字に拡張(次ページ)
- 3.無線チャンネル自動選択モードの追加(次ページ)
- 4.設定の保存と復元機能の追加(3ページ)
- 5. VPN パススルー対応(ルータモードのみ) (6ページ)
- 6. UPnP 対応 (ルータモードのみ) (7ページ)
- 7.仮想サーバー設定のポート数の拡張(ルータモードのみ)(11ページ)

1. NETWORK1 - NETWORK2 間のスループットの向上

NETWORK1 · NETWORK2 間のスループットが向上しました。以前のファームウェ ア にくらべ、ルータモードでおよそ 1.4倍、ブリッジモードでおよそ 1.7倍、スルー プットが向上しました。

2. PPPoE のパスワードの入力最大値を 31文字に拡張

3.無線チャンネル自動選択モードの追加

アクセスポイントの電源を入れたときに、周囲の電波状況(混み具合)から適切な チャンネルを自動的に検索し、設定できるモードを追加しました。

[簡単設定] - [無線LANの設定] - [チャンネル] - [自動選択/34ch(5.170 GHz)/38ch(5.190 GHz)/42ch(5.210 GHz)/46ch(5.230 GHz)]

[高度な設定] - [無線LANの設定] - [チャンネル] - [自動選択 / 34ch(5.170 GHz) / 38ch(5.190 GHz) / 42ch(5.210 GHz) / 46ch(5.230 GHz)]



4.設定の保存と復元機能の追加

[高度な設定]-[設定の保存と復元]-[保存/復元] ・設定を保存する場合は、[保存]ボタンをクリックします。(次ページ参照) ・設定を復元する場合は、[復元]ボタンをクリックします。(5ページ参照)



[保存]する場合

下記の画面で[保存]ボタンをクリックします。

設定の保存 クリック 保存 現在のアクセスポイントの設定を、お使いのPOIに保存しておきます。 Rð

下記の画面で[保存]ボタンをクリックし、画面の指示にしたがいます。



[復元]する場合

下記の画面で[参照]ボタンをクリックし、ファイルを指定後、[次へ]ボタンを クリックます。



確認画面が表示されるので、画面下方の[設定実行]をクリックします。



5. VPN パススルー対応 (ルータモードのみ)

ルータモードの場合でも、LAN 側(NETWORK2 側または、WIRELESS 側)から WAN 側(NETWORK1 側)へ、PPTP または IPSec を利用して VPN 接続 できるようになります。

ルータモードで WAN 側(NETWORK1 側)から LAN 側(NETWORK2 側ま たは、WIRELESS 側)の特定のコンピュータへ、PPTP を利用して VPN 接続 できるようになります。

[高度な設定] - [その他の設定] - [VPNパススルー] - [有効(PPTPと IPSec) / 有効(PPTP) / 有効(IPSec) / 無効]

その他の設定	
VPN バススルー	有効 (PPTPとIPSec) マ
UPn/P	<u>有効(PPTPとIPSec)</u> 有効(PPTP) 有効(IPSec)
仮想サーバー設定	
DNS テーブル	<u>表示</u>



- VPN 接続を行っているコンピュータから、同時にインターネットへの接続 はできません。
- ・1つの VPN サーバには、LAN側から同時に 1つのクライアントしか接続できません。
- ・LAN 側(NETWORK2 側または、WIRELESS 側)で、1台のコンピュータ がVPN 接続を行っている場合でも、LAN 側の他のコンピュータはインター ネットへ接続できます。

6. UPnP 対応 (ルータモードのみ)

Universal Plug and Play (UPnP) Architecture, Version 1.0 で規定されている IGD (Internet Gateway Device)を実装しました。¹

これにより、ルータモード時も、Microsoft 社の Windows XP に標準でインスト ールされている「Windows Messenger²」の「カメラ」、「音声チャット」³等 の機能や、UPnP を利用したアプリケーションソフトウェアをご利用できるよう になります。

さらに、Windows XPからアクセスポイントの設定ページにアクセスできます。

【Windows Messenger の利用できる主な機能】

カメラ	
音声チャット	
ファイルまたは写真の送信	× ⁴
リモートアシスタンス	
アプリケーションの共有	
ホワイトボード	

さらに、Windows XP から、アクセスポイントの設定ページにアクセスできます。 5

- 同時に 5台まで UPnP の機能を利用したアプリケーションソフトウェアを使用できる ようになります。
- 2 「Windows Messenger Version 4.6」以降をご利用ください。
- 3 「カメラ」、「音声チャット」を利用する場合は、別途、カメラ、マイクが必要になり ます。
- 4 「Windows Messenger」の、「ファイルまたは写真の送信」機能は、ご利用になれません。(接続環境によっては、受信のみできる場合があります。)
- 5 Windows XP から、アクセスポイントの設定ページを開くには、Windows コンポーネン トの中の「ユニバーサル プラグ アンド プレイ」をインストールしておく必要があり ます。



以下のような環境の場合、UPnP機能を使用してもWindows Messenger の一部機能しかご利用できませんのでご注意ください。

- ・プロバイダから、プライベートIPアドレスを割り当てられている場合
- ・ルータ機能内蔵タイプのADSLモデムに接続して使用する場合
- ・Windows Messengerの使用方法については、マイクロソフト株式会社に お問い合わせください。

《1》WN-A54/BBRでUPnPを有効にする

[高度な設定] - [その他の設定] - [UPnP] - [有効]に設定します。



《2》WindowsでUPnPを有効にする

Windows XPの場合

[スタート] [コントロールパネル]をクリックします。

[プログラムの追加と削除]を開き、[Windowsコンポーネントの追加と削除]を 開きます。

[ネットワークサービス]を選び、[詳細]ボタンをクリックします。

[ユニバーサルプラグアンドプレイ]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリック します。

ネットワーク サービス	
各チェック ボックスをクリックして、追加はたは削除するコンボーネントを遅んでください。 ボックスは、コンボーネントの一部がインストールされることを表します。コンボーネントに を表示するには、ほね細 をクリックしてください。 ネットワーク サービス のサブコンボーネント(©)	影付きのチェック 含まれているもの
□ 8 RIP リスナ	0.0 MB 🔼
☑ 🛃 ユニバーサル プラグ アンド プレイ	0.2 MB
□ □ ■ 問題場 TCP/IP サービス	0.0 MB
説明: コンピュータでユニバーサル ブラグ アンド ブレイ デバイスの検出やま	削御をします。
必要なディスク領域の合計: 0.0 MB	[詳紀(D)
空きディスク領域: 7412.4 MB	
ОК	キャンセル

「Windowsコンポーネントウィザード」に戻りますので[次へ]ボタンをクリック します。

ウィザードが完了したら[完了]をクリックします。

Windows Meの場合

マイクロソフト株式会社の指示にしたがい、DirectX8.1以降をインストールして ください。

DirectXについてはマイクロソフト株式会社にお問い合わせ下さい。

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。

[アプリケーションの追加と削除]を開き、[Windowsファイル]タブを開きます。 [通信]を選び、[詳細]ボタンをクリックします。

[ユニバーサルプラグアンドプレイ]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリック します。

通信	×
コンボーネントをインストールするには、コンボーネントのチェック ください。インストールしないコンボーネントのチェックボックスは きのボックスは、コンボーネントの一部だけがインストールされる コンボーネントの一覧を表示するには、ほ羊細」をクリックしてく コンボーネントの毎番類(C)	・ボックスをオンにして オフにします。影付 ことを意味します。 ださい。
コンボーイン 「の理業を受い	00 MB -
■ ■ シートル シントリーン シー	0.9 MB
☑ 💷 ユニバーサル プラグ アンド プレイ	0.4 MB
🗌 📴 仮想プライベート ネットワーク	0.0 MB 🖵
インストール済みコンボーネントのディスク領域: 必要なディスク領域: 空きディスク領域:	19.8 MB 0.0 MB 2050.9 MB
ー 記の月 ユニバーサル プラグ アンド プレイを使用すると、Windows の間で、シームレスな接続や通信が可能になります。	と高機能装置と
	詳細(<u>D</u>)
ОК	キャンセル

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]に戻りますので[OK]をクリックします。

《3》UPnPを確認にする

確認方法はWindows XP、Windows Me共通です。(説明はWindows XPの例です。) UPnP機能が有効になると、ネットワーク上のWN-A54/BBRが検出され以下の 画面が表示されますのでクリックします。



「I-O DATA WN-A54/BBR」アイコン上で右クリックし、[プロパティ]クリック します。



下の画面が表示されていたら、正常にWN-A54/BBRが認識されています。

正常に認識されていない場合は、設定をご確認ください。



7. 仮想サーバー設定のポート数の拡張(ルータモードのみ)

- [高度な設定]-[仮想サーバー設定]-[転送元ポート]
- 1~39999 1~49151に拡張しました。

				?	
			仮想サ・	-バー設定	
114	₿⊟IJ, PPTP	VPN のためのつ	タワード ルールです。		
€Z X	きんポート及び	福廷先ポートは1	から49151の範囲で指	定してください。	
	する	TCP/UDP 1	- 49151 192.10	58.11.15 : 1 975	
;	する 制定したひと: する	TCP/UDP 1 のがポート 21)だ TCP/UDP 2 プロトコル	- 49151 1921(け転送先P7ドレス 01) 1 - [入力しない] 転送元ポート	68.11.15 : 1 する 92.168.11.15)に転送する場合 192.168.11.15 : 21 する <i>転送先 P アドレス/ポート</i>	口グ出力
; 1	する 都定したひとこ する 振波 気効 マ	TCP/UDP 1 のがポート 21) だ TCP/UDP 2 プロトコル TCP/UDP マ	- 49151 19210 け転送先即アドレス 01 1 - (入力しない) <i>転送元ポート</i>	68.11.15 : 1 する 92.168.11.15)に転送する場合 192.168.11.15 : 21 する <i>転送先 P アドレス/ポート</i> 192.168.0. :	<i>ログ出力</i> 暴効 <u>¥</u>
3 1 2	する 間定したひとこ する <u>希波</u> 無助 <u>×</u>	TCP/UDP 1 DOM(-+ Q1) f2 TCP/UDP 2 7/07-3/4 TCP/UDP 2 TCP/UDP 2 TCP/UDP 2	- 49151 192.10 け転送先即アドレス 0.9 1 - [入力しない] <i>転送元ポート</i> -	68.11.15 : 1 ずる 92.168.11.15)に転送する場合 192.168.11.15 : 21 ずる <i>転送先 P アドレス/ポート</i> 192.168.0. :	<i>ログ出力</i> 無効 ¥ 無効 ¥
; 1 2 3	する 御宅したひとら する <u>伝述</u> 無効 <u>×</u> 無効 <u>×</u> 無効 <u>×</u>	TCP/UDP 1 D03K - - 21) /5 TCP/UDP 2 2 ¹ 2/-2% TCP/UDP ↓ TCP/UDP ↓ TCP/UDP ↓	- 49151 192.10 け転送先炉アドレス 0.9 1 - [入力しない] <i>転送元ポート</i> 	68.11.15 : 1 する 92.168.11.15 : 21 する 192.168.11.15 : 21 する <i>転送先 P アドレスパポート</i> 192.168.0. : 192.168.0. :	<i>ログ出力</i> 無効 ¥ 無効 ¥ 無効 ¥